

## 介護職員初任者研修カリキュラム

事業者名 ナイスコミュニティーサービス株式会社

研修事業の名称 ナイスコミュニティー福祉カレッジ 初任者研修通学コース

1 職務の理解 ( 6 時間 )		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
多様なサービスの理解	3 時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護職が働くサービス現場にどのようなものがあるか、介護保険サービス（居宅・施設）とそれ以外（障害者（児）サービス等）について理解する。</li> </ul>
介護職の仕事内容や働く現場の理解	3 時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な居宅、施設サービス現場におけるそれぞれの仕事内容を理解する。講師による講義の他、様々な働く現場について視聴覚教材を活用して理解を深める。</li> <li>・ ケアプランから始まるサービス提供に至るまでの一連の流れ、チームアプローチ、他職種との連携、地域社会資源との連携等、介護サービスの提供についてイメージを持たせる。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護職が働く現場や仕事の内容、サービス提供現場の具体的なイメージについて、自分なりの意見をまとめて発表する。</li> </ul>
合計	6 時間	
2 介護における尊厳の保持・自立支援 ( 9 時間 )		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
人権と尊厳を支える介護	6 時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権と尊厳の保持の視点から利用者の尊厳を著しく傷つける言動とその理由について考えさせ、尊厳という概念に対する気づきを促す。</li> <li>・ 虐待防止、身体拘束禁止、高齢者虐待防止法、高齢者の養護者支援について理解する。</li> <li>・ 介護分野における ICF や QOL の考え方の理解を深める。</li> <li>・ 個人の権利を守る制度の概要として、個人情報保護法や成年後見人制度、日常生活自立支援事業の理解を深める。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 尊厳の保持、QCL、ノーマライゼーション、自立支援の考え方を取り入れた介護の目標や展開について、個人で事例検討を行う。</li> </ul>
自立に向けた介護	3 時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の自立に向けた支援を具体的な事例を複数示し、利用者およびその家族の要望にそのまま応えることと、自立支援・介護予防という考え方に基づいたケアを行うことの違い、自立という概念に対する気づきを促す。</li> <li>・ 具体的な事例を複数提示し、利用者の残存機能を効果的に活用しながら自立支援や重度化の防止・遅延化に資するケアへの理解を促す。</li> <li>・ 介護予防の考え方の理解を深める</li> </ul>
合計	9 時間	

3 介護の基本（ 6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
介護職の役割、専門性と多職種との連携	2時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の目指す基本的なものは何かを概説でき、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について理解を促す。</li> <li>・介護に係る職種として異なる専門性を持つ多職種を理解する。また、医療・看護との連携など互いの専門能力を活用した効果的なサービス提供、チームケアにおける役割の理解を促す</li> <li>・訪問介護と施設介護サービスの違いや地域包括ケアの方向性など、介護環境の特徴を理解する。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問介護等、介護サービス提供の具体的な例を挙げ、チームケアについて、重要性、役割分担等、自分にとっての介護職の役割をまとめて発表する。</li> </ul>
介護職の職業倫理	2時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職の職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族と関わる際の留意点について、ポイントを理解できるように促す。</li> <li>・介護職の倫理の意義や介護の倫理、介護職としての社会的責任、プライバシーの保護・尊重の理解を促す。</li> </ul>
介護における安全の確保とリスクマネジメント	1時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護における安全確保として、生活支援の場では出会う典型的な事故や感染、介護における主要なリスクを理解できるように促す。</li> <li>・介護における事故予防や安全対策として、リスクマネジメントや分析の手法、視点、事故に至った経緯の報告・情報の共有等の理解を促す。</li> <li>・感染対策や感染に対する正しい知識を身につけられるよう促す。</li> </ul>
介護職の安全	1時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職の心身の健康管理として、介護職におこりやすい健康障害や受けやすいストレス、またそれらに対する健康管理、腰痛予防、手洗い、うがい、感染症対策、ストレスマネジメントのあり方、留意点等を理解する。</li> </ul>
合計	6時間	

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（ 9時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
介護保険制度	3時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活全体の支援のなかで介護保険制度の位置づけを理解し、各サービスや地域支援の役割について理解する。</li> <li>・介護保険制度の仕組みの基本的な理解として、介護保険制度の財源、介護給付と種類、予防給付、要介護認定の手順等の大枠について理解する。</li> <li>・ケアマネジメントや予防重視型システムへの転換、地域包括支援センターの設置や地域包括ケアシステムの推進について理解できるよう促す。</li> <li>・介護保険制度を支える財源、組織・団体の機能と役割において、財政負担や指定介護サービス事業所の指定が理解できるよう促す。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <p>介護保険の理念について具体例を基に質疑応答で理解度を確認する。</p>
医療との連携とリハビリテーション	3時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医行為の考え方、医療との連携の視点から、医行為と介護、訪問看護、施設における看護と介護の役割・連携、リハビリテーションの理念と介護、施設におけるリハビリテーション専門職と介護の役割、理学療法・作業療法・言語聴覚療法の基本を理解する。</li> </ul>
障害者総合支援制度及びその他の制度	3時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢障害者の生活を支えるための基本的な考え方として、ICF（国際生活機能分類）、障害の概念、障害者総合支援制度の理念や、障害者総合支援制度の財源構成と保険料負担、介護給付訓練等給付の申請から支給決定までの大枠について理解する。</li> <li>・個人の権利を守る制度の概要として、生活保護制度 / 成年後見制度 / 日常生活自立支援事業 / 虐待防止制度 / 年金制度 / 消費者保護制度 / 個人情報保護法等の大枠について理解する。</li> </ul>
合計	9時間	

5 介護におけるコミュニケーション技術（ 6 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
介護におけるコミュニケーション	3 時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割として、コミュニケーション能力に対する理解や配慮、傾聴的態度、共感の応答を理解する。</li> <li>・ 言語、視覚、聴覚障害者とのコミュニケーション上の留意点を列挙する。</li> <li>・ 利用者・家族とのコミュニケーションの実際において、思いを把握し、感情に共感するなど信頼関係の形成等を理解する。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例を示しながら利用者の心理や利用者との人間関係を著しく傷つけるコミュニケーションとその理由についてロールプレイをして確認する。</li> </ul>
介護におけるチームのコミュニケーション	3 時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チームケアにおける専門職種でのコミュニケーションの有効性、重要性を理解するとともに、記録等を作成する介護職一人ひとりの理解が必要であることへの気づきを促す。</li> <li>・ 介護に関する記録の種類や書き方が理解できるよう促す。</li> <li>・ 記録における情報の共有化として、介護における記録の意義・目的、機能と重要性に気づき、主要なポイント（5W1H等）を理解する</li> <li>・ 報告・連絡・相談を的確に行うための留意点を理解する</li> <li>・ コミュニケーションを促す環境として会議や情報共有の場やケアカンファレンス等の重要性について理解する。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護記録等、サービス提供の記録を実際に作成する。</li> </ul>
合計	6 時間	
6 老化の理解（ 6 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
老化に伴うこころとからだの変化と日常	3 時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <p>加齢・老化に伴う生理的な変化や心身の機能の変化、社会面、身体面、精神面、知的能力面などの変化に着目した心理的特徴や日常生活への影響について理解する。</p> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身体機能を制限する事で、老化を疑似体験し、老化に伴う心と体の変化を理解する。また、介護において生理的側面の知識を身につけることの必要性について最近のニュースを話題にして意見交換をする。</li> </ul>

高齢者と健康	3 時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <p>高齢者に多い心身の変化、疾患の種類とその症状等について具体例を挙げ、その対応における留意点を説明し、介護において生理的側面・心理的側面・身体的側面の知識を身につけることの必要性を理解する。</p> <p>・高齢者の疾病と生活上の留意点（骨折 / 筋力低下 / 関節痛 / 循環器障害 / 老年期うつ病 / 誤嚥性肺炎 / 感染症等）が理解する。</p> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <p>・加齢や老化に伴う心身の変化や疾病の小さな症状の変化にどのようにすれば気づくか、身近な体験を基に気づきの具体例を発表する。</p>
合計	6 時間	

7 認知症の理解(6時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
認知症を取り巻く状況	2時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症の利用者の心理・行動例等を示すことで、介護において認知症を理解することの必要性の気づきを促し、認知症ケアの理念や考え方を理解する。</li> <li>・ 認知症の方を中心にしたパーソンセンタードケアやできる事に着目する認知症ケアの視点を理解する。</li> </ul>
医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症の原因疾患等について理解する。</li> <li>・ 医学的な側面からみた認知症の定義（物忘れとの違い）や認知症の利用者の健康管理の重要性と留意点、治療や薬物療法について概説できるよう促す。</li> <li>・ 認知症の利用者の生活環境の意義やそのあり方について、主要なキーワードを理解できるよう促す。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症による記憶障害と健康な高齢者の物忘れとの違いについて、自らの物忘れ体験を基にその相違点をまとめて発表する。</li> </ul>
認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症の中核症状と行動・心理症状（BPSD）等のポイント、及び認知症の利用者への対応、コミュニケーションのとり方などを理解する。また、同様に、若年性認知症の特徴についても理解する。</li> </ul>
家族への支援	1時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症の高齢者を支える家族への支援のために、家族の気持ちや、家族が受けやすいストレスについて、認知症の滋養課程での援助、家族負担の軽減（レスパイトケア）について理解する。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護に伴い家族が受けやすいストレスや、家族の気持ちについて最近の介護事故、虐待事例を検討して各自でまとめて意見交換をする。</li> </ul>
合計	6時間	
8 障害の理解(3時間)		
障害の基礎的理解	1時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解できるよう促す。</li> <li>・ ICFの分類や医学的分類、ICFの考え方についてや、ノーマライゼーションの概念について理解できるよう促す。</li> </ul>

<p>障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識</p>	<p>1 時間</p>	<p>&lt; 講義内容 &gt;          障害の医学的側面、生活障害等の基本的知識として、身体障害（視覚障害 / 聴覚平衡障害 / 音声言語咀嚼障害 / 肢体不自由 / 内部障害）・知的障害・精神障害（統合失調症 / 感情障害 / 依存症 / 高次脳機能障害 / 広汎性発達障害・LD・ADHD等）・その他の心身の機能障害について理解する。          &lt; 演習 &gt;          ・視覚を制限し視覚障害者の身体状況を疑似体験する事で視覚障害者に対するガイドヘルプの重要性を理解する。また、障害の概念と ICF 等の基本的な考え方を理解したうえで、それぞれの障害の特性と介護上の留意点に対する理解を深める目的で課題を与えて質疑応答を行う。</p>
<p>家族の心理、かかり支援の理解</p>	<p>1 時間</p>	<p>&lt; 講義内容 &gt;          ・障害の理解や、障害の受容支援、介護負担の軽減について理解できるように促すとともに、障害のある人の家族の心理を考える。          &lt; 演習 &gt;          ・介護の基本的な考え方と障害の受容のプロセスについて理解を確認するため事例検討を行う。</p>
<p>合計</p>	<p>3 時間</p>	

9 こころとからだのしくみと生活支援技術（ 75時間）

	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
基本知識の学習	介護の基本的な考え方	6時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス事例を通じて、ご利用者に不満足を感じさせず、生活の充足を与える事が出来る介護技術が必要になることの理解を促す。</li> <li>・ 法的根拠に基づく介護、理論に基づく介護（我流介護の排除、ICFの視点に基づく生活支援等）について理解する。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 我流介護と法的根拠に基づく介護について失敗事例、ヒヤリハットを発表して改善策を検討する。</li> </ul>
	介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護実践に必要なこころの仕組みの基礎的な知識を介護の流れに沿って理解する。</li> <li>・ 学習 / 記憶 / 感情 / 意欲の基礎知識や自己概念と生きがいについて理解する。</li> <li>・ 老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因について理解する。</li> <li>・ 心の持ち方が行動に与える影響や、からだの状態が心に与える影響について理解する。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人の意欲や記憶の構造等を支援と結び付けて考える方法について、具体的なロールプレイを通しての気づきを確認する。</li> </ul>
	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護実践に必要なからだのしくみの基礎的な知識を介護の流れを示しながら、具体的な身体の各部の名称や機能等が列挙できるように促す。</li> <li>・ バイタルサインの意味を理解して、体調を示す重要な情報であることを理解する。</li> <li>・ 人体の各部の名称と動きに関する基礎知識、中枢神経系、体性神経、自律神経、内部器官に関する基礎知識を理解する。</li> <li>・ こころとからだを一体的に捉える事を理解する。</li> <li>・ 利用者の様子の普段との違いに気づく視点が養えるよう促す。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご利用者の様子の違いに気づくにはどうしたらいいのか、自らの日常生活の中での気づきについて発表する。</li> </ul>
生活支援技術の講義・演習	生活と家事	3時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家事援助の機能と基本原則、家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援を学ぶ。</li> <li>・ ご利用者の生活歴や自立支援、予防的な対応、主体性・能動性を引き出す多様な生活習慣、価値観等がある事を理解する。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家事援助の機能と基本的原則について生活の知恵の具体例をまとめて意見交換をする。</li> </ul>



<p>快適な居住環境整備と介護</p>	<p>6時間</p>	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具貸与等に関する留意点と支援方法を理解する。</li> <li>・ 家庭内に多い事故について理解する。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭内に多い事故について事例を示して、その原因と防止策を具体的に検討する。</li> </ul>
<p>整容に関連したことからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>6時間</p>	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全な整容介護を行うための介助方法の基本を習得する。</li> <li>・ 装うことや整容の意義について概説でき、整容に関する基礎知識、整容の支援技術を学び、指示や根拠に基づいて部分的な介護を行うことができるよう促す。</li> <li>・ 整容行動や、洗面の意義・効果について理解できるよう促す。</li> <li>・ 口腔ケアの意義や介助の方法を学び、介助方法を習得する。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣服の着脱の支援動作を習得し、身支度介護の基本を理解する。また、衣服の着脱の問題点や意義等について、介護される側の立場になって心地良いことと不快なことを意見交換してまとめる。</li> <li>・ 口腔ケアに必要な援助動作を習得するとともに口腔ケアの意義を理解しながら、口腔ケアに関する動作および知識を理解する。</li> </ul>
<p>移動・移乗に関連したことからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>6時間</p>	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全な移動・移乗介護を行うために介助方法の基本を習得する。</li> <li>・ 体位変換と移動・移乗に関連する用具・機器とその基本的使用方法をやご利用者の重心等を理解し・介護者双方にとって負担が少なく安全な移乗移動を理解する。</li> <li>・ 褥瘡予防について理解する。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体位変換の方法を習得する、車椅子の移乗や移動を習得する、杖なし歩行の介助方法を習得する、視覚障害者の歩行介助をしゅうとくする。ボディメカニクスを意識した介助中の身のこなしを習得する。</li> </ul>
<p>食事に関連したことからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>6時間</p>	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法が列挙でき、食事に関するだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる技術を習得する。</li> <li>・ 食事に関する基礎的知識、食事環境の整備・食事に関連した用具等の活用方法を理解する。</li> <li>・ 食事形態と身体のしくみ、楽しい食事そ障害する要因を理解する。</li> <li>・ 低栄養 / 脱水の弊害や、誤嚥性肺炎の予防について理解する。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事介助の技法を習得し、高齢者の自立に向けた介助を理解する。</li> </ul>

<p>入浴、生活保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>6時間</p>	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法やからだのしくみを理解し、指示に基づいて介助を行える技術を習得する。</li> <li>・楽しい入浴を阻害するところと身体の要因と支援方法を理解する。</li> <li>・羞恥心や遠慮の配慮、体調の確認について理解する。</li> <li>・目や鼻腔や耳や爪の清潔方法について理解する。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浴槽を用いて片麻痺がある利用者の場合の入浴介助の基本動作を習得する、また、手浴や足浴、陰部洗浄、ベッド上で寝たきりの場合の洗髪方法、全身清式の方法等を習得する、それぞれの介助の手順と留意点を理解する。</li> </ul>
<p>排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>6時間</p>	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄に関連した基礎知識、さまざまな排泄用具の活用方法やからだのしくみを理解し、指示に基づいて介助を行える技術を習得する。</li> <li>・排泄の身体面・心理面・社会的な意味について理解する。</li> <li>・ご利用者のプライドやプライバシー、羞恥心や心理的負担や尊厳と生きる意欲などについて理解する。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレやポータブルトイレでの介助の基本動作を習得する、また、おむつ交換等の介助方法を習得する。介助手順の習得ばかりでなく、対象者の身体面や心理面等に配慮した介助の視点も合わせて習得する。</li> </ul>
<p>睡眠に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>6時間</p>	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、睡眠に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができるように促す。</li> <li>・安眠のための介護の工夫について理解できるよう促す。</li> <li>・褥瘡予防の為にベッドメイク等の環境整備について理解できるよう促す</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッドを用いて就寝時の介助の基本動作を習得し、福祉用具の活用法及び、利用者の褥瘡予防と安楽な体位を理解する。</li> <li>・ベッドメイクの方法や手順を習得する、利用者が寝ている場合のシーツ交換の方法や手順を習得する。</li> </ul>
<p>死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護</p>	<p>6時間</p>	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「死」に向かう生の充実と尊厳ある死について考えることができるように、身近な素材からの気づきを促す。</li> <li>・終末期ケアや高齢者の死に至る過程や兆候について理解できるよう促す。</li> <li>・多職種間の情報共有の必要性について理解できるよう促す。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期ケアを理解するために尊厳ある死について、親族または身近な知人の看取り体験があれば発表する。ない場合はその状況を想像して、気づきを語り合い理解する。</li> </ul>

生活支援技術演習	介護過程の基礎的理解	6時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程の基本的な考え方、流れを理解する。</li> <li>・介護過程の基本的な視点、姿勢を理解する。</li> <li>・介護過程の構成要素を理解する。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント及び介護計画の作成をケーススタディで学習し、基本的な介護過程を理解する。</li> </ul>
	総合生活支援技術演習	6時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得を目指す。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例の提示 ころとからだの力が発揮できない要因の分析 適切な支援技術の検討 支援技術演習 支援技術の課題のサイクルを実施する</li> <li>・事例は高齢分野（要介護2程度、認知症、片麻痺、座位保持不可）から2事例を選択して実施する</li> </ul>
実習		時間	
	合計	75時間	
10 振り返り（4時間）			
	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	振り返り	2時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再認識を行うとともに、就業後も学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識を図れるよう促す。</li> </ul>
	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2時間	<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得後の継続的な研修の重要性（就労時のOJT等）や介護福祉士・介護支援専門員等へのステップアップをふまえたキャリアプランについて理解する。</li> </ul> <p>&lt; 演習 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を通じて学んだこと、今後介護の現場に実際にでたときに継続して学ぶべきことについて、各自の決意発表を行う。</li> </ul>
	合計	4時間	
全カリキュラム合計時間		130時間	

規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。